

明治三十三年第三種郵便物認可（毎月四日十四日廿四日三回發行）
五月八日

縣報

第五十七號

明治卅四年十一月四日

和歌山縣

○縣令

○和歌山縣令第七十六號

明治三十四年九月本縣令第五十八號矣痘像防區域中へ左ノ通り追加ス

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治三十四年十月二十三日

一 那賀郡岩出村大字清水字内村 紀和鐵道線路以東）一圓

和歌山縣知事

椿 蒸一郎

○和歌山縣令第七十七號

明治三十四年八月本縣令第四十五號ハ本日限リ廢止ス

明治三十四年十月二十三日

和歌山縣知事

椿

葉一郎

和歌山縣令第七十七號參照

明治三十四年八月本縣令第四十五號ハ兵庫縣下ニ於ケル流行性齧白瘡豫防ノ爲神戸市ヲ發シ又ハ通過シタル牛羊豕並ニ病毒汚染ノ疑アル物品輸入停止ノ件

縣報第五十七號

明治三十四年十一月四日

第三種郵便物認可

四

○和歌山縣令第七十八號

明治三十四年九月本縣令第五十八號炭疽豫防區域中へ左ノ通追加ス

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治三十四年十月廿三日

和歌山縣知事

椿

藁一郎

一 那賀郡岩出村大字高塚字北垣内一圓

一 那賀郡王子村大字後田一圓

縣報第五十七號

明治三十四年十一月四日

第三種郵便物認可

六五

一、

二、

三、

四、

五、

六、

七、

八、

九、

十、

○和歌山縣令第七十九號

明治三十一年九月和歌山縣令第四十三號市町村立小學校就學旗授與規程中左ノ通改正シ明治三十五年四月一日ヨリ施行ス

但此改正ノ効力ハ實施以前ニ授與シタル就學旗ニ及サズ

明治三十四年十月廿四日

和歌山縣知事

椿 葵 一 郎

第二條 就學旗ヲ別テ左ノ三種トシ就學區域内就學歩合ノ多寡ニ應シ尋常小學校ニ授與ス

ルモノトス

特別旗 學齡兒童百人 男九十七人以上女九十五人以上
中就學歩合

壹等旗 同 男九十五人以上女九十人以上

貳等旗 同 男九十人以上女八十五人以上

但日々出席兒童數在籍兒童數ノ九分以上タルメシ

前項ノ歩合ハ前年度末ノ調査ニ據ル

第四條第五條中「生徒」ヲ「兒童」ト改ム

第五條中「前年中」ヲ「前年度末」ト改ム

第八條中三等旗ノ雜形ヲ除キ末項「三等旗」ヲ削ル

（Faint, illegible text, likely bleed-through from the reverse side of the page. The text is arranged in vertical columns, typical of a newspaper or official document.)

○和歌山縣令第八十號

明治三十四年九月本縣令第五十八號炭疽痘豫防區域中左記ノ地域ハ本日限リ解除ス

明治三十四年十月二十四日

和歌山縣知事

椿 蒸 一 郎

一 那賀郡池田村大字池田新一圓

一 那賀郡上岩出村大字荆本字古市垣内一圓

一 那賀郡池田村大字北勢田字角矢及同村大字勢南田字杉ノ尾一圓

一 那賀郡田中村大字西井阪一圓

一 那賀郡川原村大字上丹生谷字小畑一圓

一 海草郡山口村大字平岡字上地同村大字中筋日延字藪裏ノ坪及同大字字日延一圓

此項... 關於... 之... 事項... 業經... 呈請... 核准... 在案... 茲將... 核准... 之... 情形... 函達... 仰... 遵照... 辦理... 此... 佈

○和歌山縣令第八十一號

逕查看守退隱料及遺族扶助料法取扱手續別紙之通相定ム

明治三十四年十月廿五日

和歌山縣知事

椿 葵 一郎

(別紙)

逕查看守退隱料及遺族扶助料法取扱手續

第一條 逕查看守退隱料及遺族扶助料法取扱規程第一條ニ依リ差出スヘキ退隱料請求書ハ別紙第一號様式ニ一時金請求書ハ別紙第四號様式ニ據ルヘシ

第二條 取扱規程第二條第一號ノ在職履歷書ハ別紙第二號様式ニ從軍履歷書ハ別紙第三號様式ニ據ルヘシ

第三條 扶助料請求書ハ別紙第五號様式ニ據ルヘシ

第四條 退隱料ヲ下付スヘキ者ニハ別紙第六號様式扶助料ヲ下付スヘキ者ニハ別紙第七號様式ノ証書ヲ交付スヘシ

第五條 退隱料又ハ扶助料ヲ受クルモノ本籍又ハ住所ヲ移轉シタル時ハ十日以内ニ當廳ニ届出ツヘシ

第六條 逕查看守給助例ニ依リ退職給助傷痍給助又ハ死亡給助ヲ受クルモノニハ前條ノ規定ヲ準用ス

第一號様式用紙美濃紙

巡查退隱料請求書

明治何年何月何日日本縣巡查拜命以來滿拾何年以上在職ノ處明治何年何月何日退職候ニ付
 テハ明治三十四年法律第三十八號巡查看守退隱料及遺族扶助料法第何條第何項ニ據リ相當
 退隱料支給相成度別紙履歷書及ヒ戶籍謄本相添此段請求候也

何府縣何都市何町村何番地(現住所)

年 月 日
 知事宛
 元何々署勤務巡查何級俸 何 某 儀

第二號様式用紙美濃紙

在職履歷書

元何々警察署勤務巡查 位勳 姓 名

何年號何年何月何日 何府縣 何年何月何日生 明治何年何月退職
 何府縣 號何年何月生 何年何ヶ月

同 上 巡查受業生ヲ命ス 何警察部

同 上 巡查教習所課稅修業 全

同 上 何々警察署詰ヲ命ス 全

同 上 何級俸給與 何府縣

同 上
同 上
右之通相違無之候也

俸給例改正ニ付何級俸相當(朱書)
依願巡查ヲ免セラル(退職ノ理由ヲ記スヘシ)何府縣

年 月 日

氏 名 印

第三號式用紙美濃紙

從軍履歷書

明治何年何月何日

全 上

巡查在戰中何々地へ出張ヲ命セラル

何々地出張中何々司令部又ハ何々旅團長ヨリ何々ノ軍務ニ從
事スヘキ命令ヲ受ケ出張ス(辞令書アラハ其寫ヲ添付ス)

戰地何々ヨリ何々地ニ到着ス

何々軍務ニ從事シ又々何々軍務ヲ補助ス

戰地何々ヲ退ク

從軍ノ解除(辞令書アラハ其寫ヲ添付ス)

歸廳

全 全 全 全 全 全
上 上 上 上 上 上
マテ ヨリ

氏 名 印

第四號式用紙美濃紙

巡查一時金請求書

明治何年何月何日本縣巡查拜命以來滿何年以上在職ノ處明治何年何月何日退職候ニ付テハ明治三十四年法律第三十八號巡查看守退隱料及遺族扶助料法第何條ニ據リ相當一時金支給相成度別紙履歷書相添此段請求候也

何府縣何郡市何町村何番地(現住所)

年月日

元何々署勤務巡查何級俸

何

某

印

知事宛

第五號式用紙美濃紙

巡查遺族扶助料請求書

故何某儀

明治何年何月何日本縣巡查拜命以來滿拾何年以上在職ノ處明治何年何月何日死亡候ニ付テハ明治三十四年法律第三十八號巡查看守退隱料及遺族扶助料法第何條第何項ニ依リ相當扶助料支給相成度別紙(履歷書及)戶籍謄本相添此段請求候也

何府縣何郡市何町村何番地(現住所)

元何々署勤務巡查何級俸何某寡婦(子)父母)

年月日

何

某

印

知事宛

第六號様式用紙鳥ノ子

退隠料證書

第何號

八

元和歌山縣巡查

何 誰

年號何年何月生
明治何年何月何日退職

退隠料年額金何圓

寸 巡查看守退隠料及遺族扶助料法ニ依リ警察部長ノ審査ヲ經テ前記退隠料ヲ受ク可キ事

ヲ認メ此證書ヲ付與ス

明治 年 月 日

縣印

八 八

元和歌山縣

寸 寸

氏名

年號何年何月生
扶助料起算ノ初月明治何年何月

扶助料年額金何圓

同並運查看守退隱料及遺族扶助料法ニ依リ警察部長ノ審査ヲ經テ前記扶助料

ニ受テ可キ事ヲ認メ此證書ヲ付與ス

明治
年

縣印

月 日

和歌山縣知事

位記勳等

氏名

印

和歌山縣知事
位記勳等
氏名
印

紋

第七號様式用紙鳥ノ子

扶助料證書

第何號

八

元和歌山縣巡查何難寡婦(長男)(次女)

氏

名

年號何年何月生
扶助料起算ノ初月明治何年何月

扶助料年額金何圓

寸 巡查看守退隱料及遺族扶助料法ニ依リ警察部長ノ審査ヲ經テ前記扶助料ヲ受ク可キ事

ヲ認メ此證書ヲ付與ス

明治 年 月 日

縣印

八 八

寸 寸

扶助料證書

第何號

壹

尺

花

紋

退隱料證書

第何號

元和歌山縣巡查

何 謹

年號何年何月生
明治何年何月何日退職

退隱料年額金何圓

巡查看守退隱料及遺族扶助料法ニ依リ警察部長ノ審査ヲ經テ前記退隱料
ヲ受ク可キ事ヲ認メ此證書ヲ付與ス

明治

年 縣
印

月

日

和歌山縣知事 位記勳等 氏 名 印

和歌山縣知事 位記勳等 氏 名 印

○和歌山縣令第八十二號

明治三十四年九月本縣令第五十八號炭疽豫防區域中へ左ノ通り追加ス

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治三十四年十月二十五日

一海草郡楠見村大字粟字西粟一圓

和歌山縣知事

椿 泰一郎

一、新設の郵便局
二、改定郵便料
三、郵便物の取扱
四、郵便物の配達
五、郵便物の受取
六、郵便物の送附
七、郵便物の掛金
八、郵便物の封筒
九、郵便物の封紙
十、郵便物の封筒紙

市街山形郵便局

市街山形郵便局

○和歌山縣令第八十三號

明治三十四年九月

本縣令第五十八號炭疽豫防區域中左ノ地域ハ本日限リ解除ス

明治三十四年十月二十五日

和歌山縣知事

椿

泰之郎

一那賀郡狩宿村ノ内字下ノ井一圓

東京講談會社、西室千代、其一冊

和書、二十四卷、十一月二十五日

○時津山講會第八十二編
國語、十四卷、十一月二十五日、八卷、東京講談會社、西室千代、其一冊
時津山講會社、西室千代、其一冊

時津山講會社

和

書

○和歌山縣令第八十四號

明治三十四年九月本縣令第五十八號炭疽豫防區域中左ノ地域ハ本日限リ解除ス

明治三十四年十月二十五日

和歌山縣知事

椿 葉 一 郎

一海草郡野崎村大字北島一圓

一海草郡楠見村大字善明寺ノ内西善明寺一圓

一海草郡紀伊村大字弘西字一ノ谷一圓

（一）
（二）
（三）
（四）
（五）
（六）
（七）
（八）
（九）
（十）
（十一）
（十二）
（十三）
（十四）
（十五）
（十六）
（十七）
（十八）
（十九）
（二十）
（二十一）
（二十二）
（二十三）
（二十四）
（二十五）
（二十六）
（二十七）
（二十八）
（二十九）
（三十）
（三十一）
（三十二）
（三十三）
（三十四）
（三十五）
（三十六）
（三十七）
（三十八）
（三十九）
（四十）
（四十一）
（四十二）
（四十三）
（四十四）
（四十五）
（四十六）
（四十七）
（四十八）
（四十九）
（五十）
（五十一）
（五十二）
（五十三）
（五十四）
（五十五）
（五十六）
（五十七）
（五十八）
（五十九）
（六十）
（六十一）
（六十二）
（六十三）
（六十四）
（六十五）
（六十六）
（六十七）
（六十八）
（六十九）
（七十）
（七十一）
（七十二）
（七十三）
（七十四）
（七十五）
（七十六）
（七十七）
（七十八）
（七十九）
（八十）
（八十一）
（八十二）
（八十三）
（八十四）
（八十五）
（八十六）
（八十七）
（八十八）
（八十九）
（九十）
（九十一）
（九十二）
（九十三）
（九十四）
（九十五）
（九十六）
（九十七）
（九十八）
（九十九）
（一百）

○和歌山縣令第八十五號

明治三十四年九月本縣令第五十八號炭疽豫防區域中左ノ地域ハ本日限り解除ス

明治三十四年十月二十六日

和歌山縣知事

椿

紫一郎

一那賀郡岩出村大字岡田一圓

一那賀郡田中村大字中井阪字南垣内北垣内一圓

一那賀郡岩出村大字西野一圓

一、明治三十四年十一月四日

一、明治三十四年十一月四日

一、明治三十四年十一月四日

一、明治三十四年十一月四日

一、明治三十四年十一月四日

一、明治三十四年十一月四日

○訓令

○和歌山縣訓令甲第六十二號

郡 役 所
市 役 所
町 村 役 場

今般本縣告示第二百三十一號ヲ以テ明治三十五年度徵募海軍志願兵ノ兵種員數等ヲ告示候
處其ノ人員ハ前年度ヨリ少數ナレトモ本月海軍省令第九號ヲ以テ志願兵ノ徵募區等ヲ改正
セラレ吳鎮守府内府縣ノ數ヲ減少セラレタルヲ以テ多數ノ志願者ヲ出サシムルヲ得ス就テハ
此際明治三十年月十二當縣訓令第四百五十八號ニ依リ大ニ志願者ヲ誘導シ遺憾ナキ様收計フ
ヘシ

但シ志願者ニシテ希望兵種數種アル者ハ悉皆之レヲ願書中ニ記載セサレハ本人ノ不得策
トナルヘキヲ以テ注意スヘシ

明治三十四年十月二十四日

和歌山縣知事

椿 泰一郎

明治三十四年十一月四日
 縣報第五十七號
 第三種郵便物認可
 二十四

本報自創刊以來，承蒙各界人士之厚愛，不勝感荷。茲因業務日見發達，為求進步起見，特將本報之內容，加以擴充，並增加篇幅，以期更臻完善。凡我閱者，幸垂鑒焉。

縣報編輯部 謹啟

○和歌山縣訓令甲第六十三號

郡 役 所
市 役 所
町 村 役 場
市町村立小學校

明治三十二年十一月和歌山縣訓令甲第六十四號中第一號様式ヲ左ノ通改ム

和歌山縣知事 椿 兼一郎

明治三十四年十月卅日

陸奥第五十七號

明治三十四年十一月四日

第三種郵便物認可

二十六

明治三十四年十一月四日

陸奥第五十七號

第三種郵便物認可

二十六

明治三十四年十一月四日

陸奥第五十七號
第三種郵便物認可
二十六

姓名

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
廿一
廿二
廿三
廿四
廿五
廿六
廿七
廿八
廿九
三十
卅一

出席
欠席
遲到
早退
氣朝
故事
數

日々出席數

女 男

日々欠席數

女 男

授業日數

通常休業
臨時休業

月末在籍兒童數

計 女 男

出席兒童數

計 女 男

日々出席人員數

計 女 男

日々欠席人員數

計 女 男

日々平均出席數

計 女 男

日々平均欠席數

計 女 男

○告 示

○和歌山縣告示第二百二十八號

縣下那賀郡岩出村大字清水山田德之助飼牛一頭本月十八日炭疽ニ罹リ同十九日斃死セリ

明治三十四年十月廿三日

和歌山縣知事

椿 素一郎

○和歌山縣告示第二百二十九號

流行性驚口瘡豫防ニ關スル兵庫縣令第六十號及第六十四號ハ本月十五日限り廢止シタル旨
通知アリタリ

明治三十四年十月廿三日

和歌山縣知事

椿 素一郎

○和歌山縣告示第二百三十號

左記ノ者死亡ニ依リ本日和歌山縣產婆名簿ノ登錄ヲ取消ス

明治三十四年十月二十四日

和歌山縣知事

椿 素一郎

○和歌山縣告示第二百三十一號

西牟婁郡上秋津村二千四百二十二番地和歌山縣平民 谷 中 さ の

明治三十五年度吳鎮守府ニ於テ徵募セラルヘキ海軍志願兵員數左ノ通定メラレ候條海軍志願兵條例第四條ノ年齡ニ適シ志願ノ者ハ本年十二月二十五日限り願書ニ履歷書 鍛冶志願者上該職業ニ服セテ添附シ郡ハ郡役所町村役場市ハ市役所ヲ經テ當廳ヘ到達スヘキ様差出スシ証明書トモヘシ

但シ願書ノ記載方等ハ郡市役所又ハ町村役場ニ就キ承合スヘシ

明治三十四年十月廿四日

和歌山縣知事

椿 素一郎

赤兵衛

機關兵

鍛冶

看護

主尉

計

三四五六一五一

四

一〇

一一

五一八

○和歌山縣告示第二百三十二號

狩獵免狀紛失之件左記ノ通届出アリタリ

明治三十四年十月二十四日

和歌山縣知事

椿 素一郎

西牟婁郡朝來村大字朝來千三百三拾五番地平民農

一甲種三等狩獵免狀 壹枚

野田熊吉

第一〇〇二號明治三十三年十一月十九日下付

右日時不明自宅内ニ於テ紛失

○和歌山縣告示第二百三十三號

縣下海草郡橋見村大字粟西村尚太郎飼牛一頭炭疽ニ罹リ本月二十三日斃死セリ

明治三十四年十月二十五日

和歌山縣知事

椿 素一郎

○和歌山縣告示第二百三十四號

新瀉縣西上蒲原郡地蔵堂町役場本月五日火災ニ罹リ必要書類悉皆燒失候趣ニ付同町在籍者

ニシテ現今當該下ニ寄留ノモノハ從前届出ノ手續ニ依リ來ル十二月十日マテ更ニ届出ヘシ

但同役場ニ對シ燒失以前照會又ハ出願等ノ件ニシテ應答未濟ノモノハ本文同日迄ニ照

會又ハ出願スヘシ

明治三十四年十月二十八日

○和歌山縣告示第二百三十五號

本月二十五日有田郡選出縣會議員補員選舉ヲ執行候處其當選者住所氏名ハ左ノ如シ
明治三十四年十月廿九日

有田郡岩倉村大字粟生二百五十一番地

和歌山縣知事 椿 兼一郎
和歌山縣知事 椿 兼一郎
今 井 嘉

○和歌山縣告示第二百三十六號

今般左ノ事業準備ノ爲メ起業者ニ於テ之ニ要スル土地ニ立入り測量ヲ爲スコトヲ許可セリ
起業者

事業ノ種類

立入ルヘキ土地ノ區域

道路改修
那賀郡長谷毛原村一圓

右土地收用法第九條ニ依リ公告ス
明治三十四年十月三十日

○和歌山縣告示第二百三十七號

左記之道路自今公用ヲ廢止ス
明治三十四年十月三十日

海草郡日方町字八幡谷百七十三番地
一 道敷反別貳步

和歌山縣知事 椿 兼一郎
和歌山縣知事 椿 兼一郎

○和歌山縣告示第二百三十八號

縣報第五十七號

明治三十四年十一月四日

第三種郵便物認可

二十九

兵庫縣ニ於ケル流行性齋口瘡豫防ニ關スル警視廳令第五十五號及高知縣令第七十一號ハ本月二十四日限り廢止ノ旨通知アリタリ

明治三十四年十月三十一日

和歌山縣知事

椿 素一郎

○和歌山縣告示第二百三十九號

明治三十四年三月本縣告示第四拾九號置業講習會設置ノ位置區域日朝表中左記ノ開設ヲ取消ス

明治三十四年十月三十一日

和歌山縣知事

椿 素一郎

海草郡有功村

自明治三十四年十一月七日
至全 年十一月二十日

十四日間

同 郡木本村

全全

全